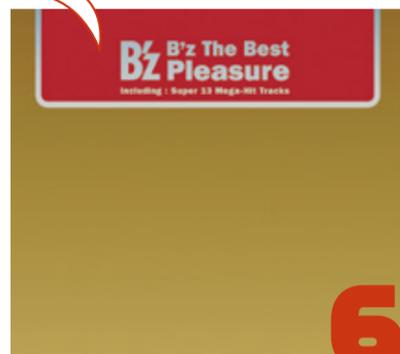


COMMENT

音楽に興味を持つようになった中学生の頃、よく聴いていました。その頃は楽器のことは何もわかっていませんでしたが、ギターってめちゃくちゃカッコいい!と思わせてくれた偉大なアルバムです。
オカザワ カズマ/キウソネコカミ



『B'z The Best "Pleasure"』

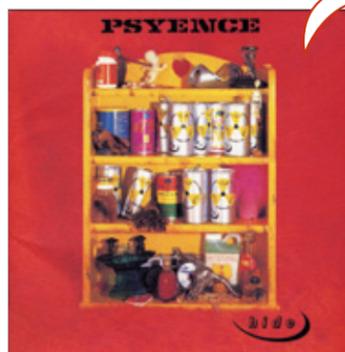
B'z

RELEASE : 1998年 GUITARIST : 松本孝弘

● ディスク解説 本作の収録曲は、ほぼチャート1位楽曲で構成されている……スゴすぎ! もはや歌だけでなく、ギターのフレーズまで含めて口ずさめるという人も多し。そんな松本の超一流テクニック&歌心あふれる国宝級プレイが存分に楽しめる1枚だ。セールスは500万枚超、現在でもベスト・アルバムとしては累計売上1位。偉大、そして規格外。(福岡敬太)

COMMENT

自分がギタリストとしてミュージシャンとして一番の影響を受けた人です。そしてこのアルバムが一番好きなのでこの作品を選ばせてもらいました。形にとらわれない日本のオルタナティブギターサウンドが聞ける作品です。
シンタロック/submen



62 『PSYENCE』

hide

RELEASE : 1996年 GUITARIST : hide

● ディスク解説 『HIDE YOUR FACE』以降に書き溜めておいた多くの楽曲を破壊し、作曲から録音まで短期間で完成させた2作目。その選択は瞬発力のあるプレイ/サウンドを導き、何が飛び出すかわからないバリエーション豊かなマテリアルが次々とくり出されてくる。X JAPANのライブにおけるソロ・コーナーでも披露されていた「POSE」も収録。(土屋京輔)

シンプルに洗練されたビート・ロック

『BEAT EMOTION』

BOØWY

RELEASE : 1986年 GUITARIST : 布袋寅泰

COMMENT

まさに時代を変えた1枚。
yoda/MONO

中2の時「DOWN TOWN SHUFFLE」のGソロでオレはBOØWYを認めた。
榎木宏介/BURL



61

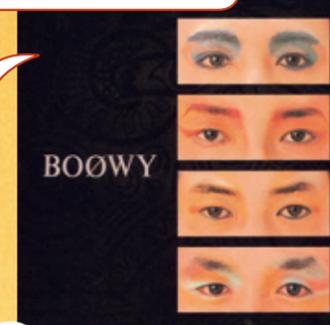
● ディスク解説 ポップとストレンジを極限まで突き詰めた、唯一無二の完成度を誇る5枚目。本作はキャッチーなリフと超エフェクティブなソロを組み合わせた「RUNAWAY TRAIN」や、ジャジィなソロを披露した「DOWN TOWN SHUFFLE」など、布袋のバラエティ豊かなギター・プレイが最も味わえる作品ではないだろうか。(小林弘昂)

GUITARIST
布袋寅泰

COMMENT

ギターを弾き始めた頃、「ハードロック」という音楽しか知らなかった僕にギターの魅力を再認識させてくれたアルバム。たくさんコピーしたし、今でもサウンドメイクの参考にしたりしています。「BAD FEELING」のリフは布袋さんにしか弾けないリフだと思っています。全然あんな感じにならない(泣)。
田辺由明/マカロニえんぴつ

彼らの、そして布袋寅泰の演奏、特に「BAD FEELING」を聞いた時に、ギタリストとしてド肝を抜かれました。名演が多過ぎてこれだけでランキングができてしまうので、オリジナルが収録されているこのアルバムを選びました。
浪越康平/パノラマパナマタウン



60 『BOØWY』

BOØWY

RELEASE : 1985年 GUITARIST : 布袋寅泰

● ディスク解説 プロデューサーに佐久間正英を迎え、ベルリンで録音を行なった意欲作。これまでBOØWYが得意としていたポスト・パンク/ニューウェイブ+歌謡曲というテイストに加え、ファンキーな「BAD FEELING」やモータウン・ビートの「ホンキー・トンキー・クレイジー」などを収録し、バンドの幅をグッと広げた1枚。(小林弘昂)

COMMENT

ギターを始めて間もない頃に聴いた作品で、リフとメロディ、そして圧倒的なテクニックに「日本にもこんな凄いギタリストがいるんだ!」と衝撃を受けました。タッピング・ライトハンド奏法を語る上で欠かせない作品でもありますね。
狩森/陰陽座

僕世代はこれ聴いてギターでスターになろうと思った人多いと思う。まあ知ったのはその次のアルバムあたりだと思うんですが、もちろんギター・マガジンで!!
TAKUYA



59

『DISILLUSION ~撃剣霊化~』

LOUDNESS

RELEASE : 1984年 GUITARIST : 高崎晃

● ディスク解説 LOUDNESSが大きく飛翔するきっかけとなった記念碑的傑作。リリース当時、高崎晃のギター・プレイを聴いて「日本人でもここまでうまくなれるのか!？」と衝撃を受けた者は多いが、その衝撃のちに多くの名ギタリストを生み出した。速弾きやタッピングなどのすごさはもちろん、ストーリーを感じさせるソロにも注目。(細川真平)

怪物級「ベスト・オブ・ザ・ベスト」

63

『B'z The Best "Pleasure"』

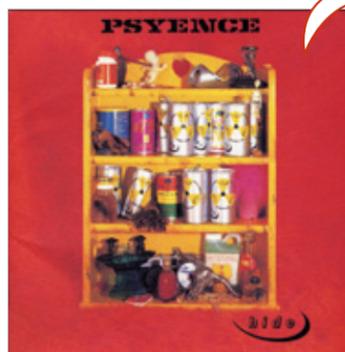
B'z

RELEASE : 1998年 GUITARIST : 松本孝弘

● ディスク解説 本作の収録曲は、ほぼチャート1位楽曲で構成されている……スゴすぎ! もはや歌だけでなく、ギターのフレーズまで含めて口ずさめるという人も多し。そんな松本の超一流テクニック&歌心あふれる国宝級プレイが存分に楽しめる1枚だ。セールスは500万枚超、現在でもベスト・アルバムとしては累計売上1位。偉大、そして規格外。(福岡敬太)

COMMENT

自分がギタリストとしてミュージシャンとして一番の影響を受けた人です。そしてこのアルバムが一番好きなのでこの作品を選ばせてもらいました。形にとらわれない日本のオルタナティブギターサウンドが聞ける作品です。
シンタロック/submen



62 『PSYENCE』

hide

RELEASE : 1996年 GUITARIST : hide

● ディスク解説 『HIDE YOUR FACE』以降に書き溜めておいた多くの楽曲を破壊し、作曲から録音まで短期間で完成させた2作目。その選択は瞬発力のあるプレイ/サウンドを導き、何が飛び出すかわからないバリエーション豊かなマテリアルが次々とくり出されてくる。X JAPANのライブにおけるソロ・コーナーでも披露されていた「POSE」も収録。(土屋京輔)

シンプルに洗練されたビート・ロック

『BEAT EMOTION』

BOØWY

RELEASE : 1986年 GUITARIST : 布袋寅泰

COMMENT

まさに時代を変えた1枚。
yoda/MONO

中2の時「DOWN TOWN SHUFFLE」のGソロでオレはBOØWYを認めた。
榎木宏介/BURL



61

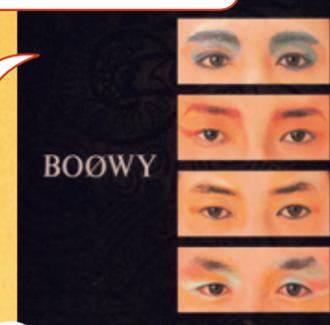
● ディスク解説 ポップとストレンジを極限まで突き詰めた、唯一無二の完成度を誇る5枚目。本作はキャッチーなリフと超エフェクティブなソロを組み合わせた「RUNAWAY TRAIN」や、ジャジィなソロを披露した「DOWN TOWN SHUFFLE」など、布袋のバラエティ豊かなギター・プレイが最も味わえる作品ではないだろうか。(小林弘昂)

GUITARIST
布袋寅泰

COMMENT

ギターを弾き始めた頃、「ハードロック」という音楽しか知らなかった僕にギターの魅力を再認識させてくれたアルバム。たくさんコピーしたし、今でもサウンドメイクの参考にしたりしています。「BAD FEELING」のリフは布袋さんにしか弾けないリフだと思っています。全然あんな感じにならない(泣)。
田辺由明/マカロニえんぴつ

彼らの、そして布袋寅泰の演奏、特に「BAD FEELING」を聞いた時に、ギタリストとしてド肝を抜かれました。名演が多過ぎてこれだけでランキングができてしまうので、オリジナルが収録されているこのアルバムを選びました。
浪越康平/パノラマパナマタウン



60 『BOØWY』

BOØWY

RELEASE : 1985年 GUITARIST : 布袋寅泰

● ディスク解説 プロデューサーに佐久間正英を迎え、ベルリンで録音を行なった意欲作。これまでBOØWYが得意としていたポスト・パンク/ニューウェイブ+歌謡曲というテイストに加え、ファンキーな「BAD FEELING」やモータウン・ビートの「ホンキー・トンキー・クレイジー」などを収録し、バンドの幅をグッと広げた1枚。(小林弘昂)

COMMENT

ギターを始めて間もない頃に聴いた作品で、リフとメロディ、そして圧倒的なテクニックに「日本にもこんな凄いギタリストがいるんだ!」と衝撃を受けました。タッピング・ライトハンド奏法を語る上で欠かせない作品でもありますね。
狩森/陰陽座

僕世代はこれ聴いてギターでスターになろうと思った人多いと思う。まあ知ったのはその次のアルバムあたりだと思うんですが、もちろんギター・マガジンで!!
TAKUYA



59

『DISILLUSION ~撃剣霊化~』

LOUDNESS

RELEASE : 1984年 GUITARIST : 高崎晃

● ディスク解説 LOUDNESSが大きく飛翔するきっかけとなった記念碑的傑作。リリース当時、高崎晃のギター・プレイを聴いて「日本人でもここまでうまくなれるのか!？」と衝撃を受けた者は多いが、その衝撃のちに多くの名ギタリストを生み出した。速弾きやタッピングなどのすごさはもちろん、ストーリーを感じさせるソロにも注目。(細川真平)

衝撃的な名プレイが聴ける
記念碑的傑作

代表曲だらけのヘルリン録音作!
ユニバーサルミュージック

集計係・GM小林のひとりごと「BOØWY」が奇跡的に連続ランク! 集計していて胸が熱くなりました。